

まちみらい ニュース News

Vol.75

編集 (財)まちみらい千代田

〒101-0054 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
http://www.chiyoda-days.jp



千代田区マンション理事長連絡会 会員募集中

入会条件を緩和

平成21年9月より募集を開始しました「千代田区マンション理事長連絡会」では、まちみらい千代田や千代田区からの様々な情報を提供しています。また、理事長連絡会では、会員とまちみらい千代田、会員相互



の意見交換の場を設けております。今後も、財団から情報発信していくとともに、そこで出されたご意見等を会員の皆様の管理組合運営にお役立ていただければと考えています。

入会条件 千代田区の分譲マンション管理組合理事長であること。

現在の運営内容

- ①区や財団、会員間の意見交換会の開催
 - ②マンションサポートちよだ miniの提供
 - ③各種情報提供
- 会費 無料

ご入会に際しましては、千代田区マンション理事長連絡会事務局である、まちみらい千代田までご連絡ください。

別途、入会申込書をお送りいたします。

問合せ 住宅まちづくりグループ ☎3233-3223 (直通)

市町村サテライトオフィス東京 長野県岡谷市

入居者紹介 Vol.12



岡谷市は、長野県のほぼ中央に位置し、諏訪湖の西岸に面し、東には八ヶ岳連峰、遠くには富士山を望む、湖と四季を彩る山々に囲まれた風光明媚な都市です。

恵まれた自然と豊富な水を利用して発展した「シルク岡谷」は、産業基盤に立脚した精密機械工業を中心とする近代工業都市に飛躍を遂げ、今日では、これまで培ってきた精密加工技術等を最大限活用し、ナノテクノロジーをベースとした「スマートデバイスの世界的供給基地」の形成を目指しております。

また、平成21年に策定した第4次岡谷市総合計画において、将来都市像を「みんなが元気に輝いたくましいまち岡谷」と定め、基幹産業としての製造業を中心に産業振興を図り、その活力と子育て支援によって人口を確保し、安定した財政基盤を確立、足腰の強い安全で安心して暮らせるまちの実現をめざし、断続的な努力を続けています。



▲塩嶺王城(えんれいおうじょう)パークラインからの展望

岡谷市ホームページ

URL <http://www.city.okaya.lg.jp/okayaspyher/>
www.normal_topjisp

千代田区マンション情報紙 マンションサポートちよだ

年4回発行

まちみらい千代田が発行するマンション情報紙は、平成16年の「マンション通信ちよだ」の発行から始まり、現在「マンションサポートちよだ」にリニューアルし、愛読されております。このマンションサポートちよだは、年間4回発行し、分譲マンション管理組合あてに送付しております。今年度からはまちみらい千代田にお申し込み頂ければ、各戸に送付いたします。



また、千代田区役所(総合窓口)、各出張所でも配布しております。皆様のご意見を頂き、さらに充実させていきたいと考えております。

マンション無料相談会

まちみらい千代田では「マンションの維持管理に関する相談」の充実を図るため、「首都圏マンション管理士会 都心支部」の協力を得て、マンション無料相談会を行っております。現在、毎回4名のマンション管理士により皆様の相談をお受けしております。

1件の相談に対して、2名のマンション管理士が対応いたしますので、お気軽にお申し込みください。

※相談は1回30分程度、予約の方を優先します。事前に相談内容等について、まちみらい千代田へご連絡ください。

問合せ 住宅まちづくりグループ ☎3233-3223 (直通)

「ちよだ青空市」

次回の「ちよだ青空市」は7月6日(水)を予定しておりますが、詳細につきましては、NPO法人農工商連携サポートセンターまでお問い合わせください。

問合せ NPO法人農工商連携サポートセンター ☎5259-8097

平成22年度事業報告と収支決算

評議員会・理事会で承認

5月26日(木)に平成23年度第2回評議員会が、翌27日(金)に第1回理事会が開催され、平成22年度の事業報告と収支決算が審議・承認されました。

事業報告・収支決算の詳細内容はホームページに掲載

問合せ 企画総務グループ ☎3233-7556 (直通)
URL <http://chiyoda-days.jp/future/summary/>

がんばる中小企業応援リレーコラム
 どうする！反転攻勢の経営(II)

景気回復の芽を伸ばせ！



「市場は新興国や海外にある」中小企業も海外進出で飛躍を勝ち取るう！

中小企業診断士 小谷泰三氏

ベトナム、中国、タイ等の中小企業振興と日系の海外中小企業の経営指導に携わって見えてくるのは、昨今、大手企業に混ざってわが国の一部の中小企業が海外展開している事例が増えていることです。海外進出の大半は製造業ですが、サービス業も活発に海外展開をしている時代となってきました。

●早めの海外展開戦略を

海外展開により生き残りを図ろうとされる企業は、まず手始めに新興国に的を絞った海外進出計画を立ててみる必要があります。その場合、QCD（品質、コストダウン、納期短縮）を念頭に置いて新興国に進出することが一番の近道です。新興国では裾野産業が育っておらず、日本の中小企業の技術力が必要なのです。

また、飲食産業や日本人が得意とする高度な技術を有した企業・きめ細かいサービス・医療産業分野では、欧米への進出も期待できます。

●海外進出で生じる問題

もともと、海外展開となるとさらに言葉や文化・慣習の違い、環境のことで、現地の人を雇って事業展開を進めるのですから、それなりに多くの問題に直面します。海外展開での失敗を未然に防ぐためには、綿密な

事前のフィジビリティ・スタディ（実現の可能性や妥当性を検証すること）が重要です。現地に進出したら現地の人をうまく活用するための人材教育、モチベーションの向上、現地社会への調和など、異文化コミュニケーションを積極的に努めていくことが大切です。また、信頼できる優れた人材の確保、現地政府や行政機関との円滑な関係、販売・調達先の選定などにも十分配慮した対処が求められます。

●支援機関を活用しよう

政府も現状の中小企業の実態ですと、早晩多くの企業が廃業に追い込まれることを予測しています。このため、もっと多くの中小企業が経済成長の著しい需要の期待できる国に進出しビジネスを展開できるように、多くの支援策を講じています。ぜひ積極的に活用することをお薦めします。

※このコラムの全文は、千代田day's「中小企業応援リレーコラム」に掲載されています。
 URL <http://chiyoda-days.jp/future/staffblog/relaycolumn/>
 問合せ 産業まちづくりグループ ☎32333-7558(直通)

【企業探訪】第3回千代田ビジネス大賞 優秀賞受賞企業訪問

インタビュー記事の全文は、千代田day'sに掲載しています。

URL <http://chiyoda-days.jp/future/staffblog/legwork/>

問合せ 産業まちづくりグループ ☎32333-7558(直通)

株式会社インフロー

代表取締役 田坂正樹 社長

「高い志で成長を続けるプリント基板製造の革命児」

最近の電気・電子機器の中を見ると必ずと言っていいほど、集積回路やコンデンサなどが貼り付けられたプリント基板が入っています。このプリント基板の設計、製造、実装を手がけているのが、株式会社インフローです。



◆株式会社インフローの特徴は

(1)E-コマースの徹底

最大の特徴はE-コマースの徹底です。お客さんは必ず「P板.com」から発注するため、受注データはすべて曖昧さのないデジタルデータ。後工程の大きな省力化に繋がっています。

(2)4つの地域の提携工場

日本、韓国、台湾、中国の4つの地域の工場と連携し、その品質管理と納期管理を徹底しています。海外の現地に指導員を送り込んで指導することも多く、納期順守率99.97~99.98%という超高水準。採算は関係なく、納期を必ず守るという姿勢が表れています。

(3)ローエンド製品に特化

さらに受注はローエンドの製品に特化。プリント基板の製造は、イニシ

アル費用がかかりますが、これを70%減まで落とすことに成功しています。

◆電子工作コンテスト

そして電子工作コンテストの主催。「イケてる電気・電子業界にしたい」からだそうです。ソフトウェア業界が重視される昨今、ハードウェアももっと注視されるべきだと田坂社長。

田坂社長をリーダーとし、スタッフの皆さんが持つ高い志が株式会社インフローをこれからさらなる高みに引き上げていくように感じられました。

株式会社建設エンジニアリング

代表取締役 宇津橋喜禎 社長

「全てはお客様のために、そして社会のために」

構造不況業種の代表とも言える建設業界にあって、これからも大きな発展を期待されているのが株式会社建設エンジニアリングです。



◆全てはお客様のために

建設とは全く違う業界から来た宇津橋社長は営業として顧客を回るうちに、「日本のゼネコンや設計事務所は技術的には世界最高水準であるが、どうも技術ばかりが先行し、本当に顧客のためになっているかどうか分からない」ということを標榜し、絶対にブレないようにすれば必ず成長できると確信したそうです。

◆コンストラクション・マネジメント

そしてコンストラクション・マネジメント(CM)という理論、システムに出会います。「建設のプロ」が発注者と契約し、発注者の代理者として最適の建設や建築を行っていくという方式です。ただし、たんなるコスト

カッターではありません。発注者の代理者だからこそ、発注者に対しても言うべきことを言うのが、コンストラクション・マネジャー(CMR)の重要な役目です。宇津橋社長はこの考え方に非常に感動し、CM業務を会社の看板業務として位置づけることとしたのだそうです。

成蹊大学ラグビー部出身の宇津橋社長。自ら営業の先頭に立ち、株式会社建設エンジニアリングのフォワードとして、前へ前へと会社を引っ張っています。

広告

プリント基板ネット通販サイト 国内シェアNO.1

製造イニシャル費用の完全無料化を実現!

<参考価格>
 2層基板、100x120mm 5枚
 実働5日日出荷 **¥21,080**
 従来メーカー対比70%オフ! (当社比)

www.p-ban.com

まずはユーザー登録を!

無料相談ダイヤル ☎Info@p-ban.com ☎0120-439-298

株式会社インフロー 〒102-0078 東京都千代田区五反田14番地中正会館10F TEL:03-3261-3431 FAX:03-3261-3432

全てはお客様のために、そして社会のために

私たちは徹底した「顧客志向」、「社会志向」に基づき、社員全員で知恵と力をつくり、優れた技術、新しいアイデア、そしてご満足いただけるサービスをお客様にお届けする「総合設計事務所」です。

株式会社建設エンジニアリング

東京都千代田区神田佐久間町3-15
 TEL:03-5822-0088
 FAX:03-5822-0081
 URL:<http://www.kensetsu-eng.co.jp>

一級建築士事務所登録
 東京都知事登録36079号
 建設コンサルタント登録 建19第4932号
 社団法人建設コンサルタント協会 会員